

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 H T T R 原子炉施設の
特殊試験の明確化に伴う設置変更許可申請の補正に係る行政相談
2. 日 時：令和4年11月25日（金） 10時15分～11時25分
3. 場 所：原子力規制庁 10階会議卓A
4. 出席者：
 - (1) 原子力規制庁 原子力規制部 研究炉等審査部門
金子安全規制調整官、加藤上席安全審査官、望月安全審査専門職、
三好技術参与
 - (2) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
大洗研究所 高温工学試験研究炉部 課長 他2名
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 担当者2名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
原子力機構からの配布資料
資料：原子炉設置変更許可申請に係る行政相談（5回目）（変更内容及び手続き
方法等について）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。それではですね、H T T Rの行政相談特殊試験に関わる件です ね、についての
0:00:10	面談の方、始めたいと思います。それでは資料の説明の方からよろしく お願いします。
0:00:20	H T Rイノイでございます。よろしくお願いいたします。
0:00:25	それをまず資料の方を共有させていただきます。
0:00:40	見えてますでしょうか。
0:00:42	大丈夫です。
0:00:45	はい。
0:00:46	では準備を進めさせていただきます。
0:00:48	修正する部分につきましては赤文字でございます主に一番後ろの方がメ インでございます、そこまでの赤文字につきましては、
0:00:58	記載の表現をもう少しわかりやすく直しているだけでございますので、
0:01:03	最初の方につきましては説明を割愛しながら進めさせていただきたいと 思います。
0:01:08	1枚目でございますけども、通常運転の範囲というところと、許可に何 で書いてないのかっていうところが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:17	わかりにくいような感じでしたので通常運転の範囲であるので、そもそも許可にそういう記載はしませんよというのをわかりやすく記載させていただいたというところでございます。
0:01:30	続きまして岩月 3 ページ目でございます。
0:01:35	本行政相談のもともとの中身でございますけれども、
0:01:40	特殊試験ですけども、通常運転範囲で行う特殊系について、今後特設件というのを多くやっていくと思われるので、
0:01:49	会場はどこ通常運転範囲で獲得はないんですけども、今後の説明のために、現在の保安規定の記載だけでなく許可の方にも書かせていただいて明確化させていただきたいという行政相談でございました。
0:02:05	行政相談でございますけれども本日 5 回目でございます、
0:02:10	今出させていただいている変更許可カーを、一旦途中で補正をしてそのあと来年の 6 月ぐらいに、
0:02:19	今出させていただいてる部分の、地震の方の補正をするというような順番を考えてございましたけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:26	<p>時期的にこの2本補正するというのをやめまして追及するのであれば、</p> <p>来年6月に追及させていただきたいということで、次期の方を修正させていただきます。</p>
0:02:41	<p>またですね</p>
0:02:44	<p>通常の運転範囲でございますので、そもそも影響間隔のやっぱりおかしいでしょうということであれば現行の保安規定に則って、手引きの方に説明させていただいている内容を記載させていただきたいと考えております。</p>
0:03:01	<p>続きまして修正している場所は、</p>
0:03:10	<p>A、</p>
0:03:13	<p>かなり後と言いますけど7月期で14ページ目でございます。</p>
0:03:27	<p>こちら参考し、参考4としての資料でございます。</p>
0:03:32	<p>何度も聞かれてございますけども、通常運転のいわゆる手順と特殊試験の違いは何ですかというのを、</p>
0:03:43	<p>何度も説明をしていって資料を書き換えてはいるんですけどやっぱり若干日本語がわかりにくいのかなということで今回ももう少し日本語を理解させていただきました。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:56	特殊試験でございますけども前回説明させていただきましたが、通常運 転の、
0:04:02	手順に従って出力を上げていって、
0:04:06	試験をしたい出力になったらそこで定常運転の状態を、いわゆる出力い って止めておくと。
0:04:12	そこから特殊試験計画というものに定められた試験手順ののっって試 験を実施し、
0:04:20	試験が終わりましたらば、その特殊試験計画の試験の手順から、
0:04:26	通常の運転手順に戻ってきてそのあとの処置は通常手順でやるというも のですよという説明で、
0:04:33	何度かさせていただいてますけども、それがもう少しわかるように日本 語の方をリバイスさせていただいたというものでございます。
0:04:42	従いましてその特殊支援についての手順は、今現在あるんですかと言 いますと、
0:04:50	来年度、通路ですかね予定してございます特殊試験については、
0:04:57	まだ特殊県計画というのは定まっておきませんのでこれから手順書等を 作成いたしますというものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:05	特殊試験に係る手順でございますけどこちらの方が見られた通りに作成 いただきますので、
0:05:11	その特殊試験計画の中で作る手順ですね、特別検定につきましても、こ ちら自体のヒンショウを通して審議終えた後に作っていくというものに なります。
0:05:28	続きまして7月期15ページ目でございます。
0:05:33	ここからが本日の説明のメインのところにありますけれども、
0:05:37	③でございます。
0:05:39	実施予定の特殊試験について、
0:05:43	もう少し詳しくということで前々回んかその前かに言われまして加えて いたんですけれども、
0:05:53	記載があちこちに飛んでいてやっぱりわかりにくいかもわかりませんで したので記載の場所を1ヶ所にまとめさせていただいたといったもので ございます。
0:06:04	特殊試験でございますがその1例として将来設備として水素製造設備、 施設施設を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:12	h r につなぐというのが今後予定されてますけどもその前にですけども、熱供給先における故障等がプラントの制御状態に与える影響を確認するために二次冷却系ですね今現在冷却系に、
0:06:28	通常運転として可能な範囲の概案を与えましてプラント全体がどのように動くかっていうのを、
0:06:35	確かめておきたいこの確かめるというのはですね安全評価のような、かなり
0:06:42	初生を、守りに持ったものではございませんで実際はどう動くか、いわゆるノミナル値としてこれくらいになるかなということで、
0:06:51	その制度を突き詰めていくための特殊試験でございます。安全評価とはまたちょっと違うものでございますけどもそのような試験をしたいというものでございます。
0:07:01	具体的にですけども定格出力運転中、こちらは試験出力するであると思っておりますけども低額出力運転中に、
0:07:09	例えば、追求計画機のファンでございますけど、こちら1台または2台をとめる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:17	資料戻らせていただきますけども、系統図を見ながら説明させていただきたいと思います。
0:07:28	こちらでございます。
0:07:30	今二次系と言っていますのはこちらですね、オレンジを、のところでございます。これは二次系になります。
0:07:38	またはこの水色のところですね、水が流れてますけど、こちらも二次系になります。
0:07:45	今現在考えてますのはこの一次系の黄色いところと熱交換した後の二次系。
0:07:52	最終的に空気冷却キーでファンで空冷をする装置がありますけれども、
0:07:59	このファンが今現在全部で6台あって大金熱放出しておりますけどもこのうちの1台または2台を、
0:08:08	とめるような概案与えるというものと、または
0:08:15	バイパスの流量を調整するもの、こちら加圧水聞いてこのファンに通ず。
0:08:22	水の量ですね。
0:08:23	を調整できるものになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:26	いわゆるどれくらい冷却するかっていうのでこの、屋上にあります黒木ファンに通す水の量をふやせば言いますし、
0:08:34	減らせば消えないですし、というように通常バイパス流量で調整しますが、
0:08:40	そのような二つの方法で、
0:08:43	やるというところ式を考えてございます。両方いっぺんにやるのではなくて個別にそれぞれないしどちらか、だけになるかもしれませんが、
0:08:52	こちらは今後検討してから、何かどちらにするかを決めていきたいというふうに考えております。
0:08:58	どちらにしましても加圧器の空気を冷えない方向に操作をしまして、
0:09:04	二次冷却系、いわゆる水の温度が冷えない方向になりますのでそちらの冷却機能を低下するという外乱を与えまして、
0:09:11	その結果として熱交換した後の一次系ですね。
0:09:17	の入口運動、もちろん開くなりますから黄色い方の熱交換、25 限でありますけども、それぞれの熱交換で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:26	冷やせる量が減りますので、現象に戻ってくる入口温度は若干上がると。
0:09:31	ていう、この特性ですね、を知りたいもっと正確にいきたいというところで試験をやりたいというものでございます。
0:09:41	こちらですけども、全体的に二次系の冷却の能力を止めますと、もちろん原資に戻ってくる入口の温度ヘリウム温度は上がります。
0:09:53	原子炉入口温度は上昇いたしますと、下水道自体は、温度上昇に伴い負の反応度フィードバック効果によりまして、
0:10:02	原子炉出力は一旦低下をいたします。
0:10:05	しばらくしますと、1体の特性もございましてプラントの全体が一定の温度に安定するという挙動を示すというものになります。
0:10:16	その安定する場所ないしどれくらいの温度変化でどれくらいの外乱が入る、ロガーに入るのかっていうのを、
0:10:25	細かい範囲ですね、細かく圧縮して、計画するための試験をやりたいというものでございます。
0:10:34	なので温度自体を 100400 でも変えるってというようなものではございませんで

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:41	通常運転範囲で認められてる範囲のみの温度変化でどのようになるかというのを確認したいという試験でございます。
0:10:49	これは特殊試験今後実施してる特殊試験の例開発に関わるもので一応2例を実施費をいたします。
0:10:59	④に移らせてきます 15 ページの方ですね。
0:11:05	資料の方も戻させていただきます。
0:11:15	こちら特殊試験でございますけれども、添付書類 10 との関係はどうなっているんですかというところでここが主な論点であるということで説明させていただいております。
0:11:27	こちら添付処理中の異常な過渡変化と書かせていただきますけども設計基準事故も含めての関係という理解してもらえばいいかと思えます。
0:11:36	福士試験として実施可能な温度変化の範囲というものでございますけども、
0:11:41	試験中における変化の範囲がスクラム設定自体することがないっていうのは当たり前でございますけれども、
0:11:48	保安規定に記載の警報を発報しない範囲であるとともに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:52	はまた保安検査見られている運転制限値を超えない範囲でないと、通常の運転範囲ではもちろん言えませんので、
0:12:00	こちらいずれも通常運転範囲において本質が見られる範囲を守るのが、通常運転の範囲ですよというものでございます。
0:12:08	今度パラメ許可でございます許可の安全評価でございますけども、
0:12:13	評価では、緊急時に停車冷却に関わる機能というのがもちろんございます。安全保護系やそのあとに動く工学的安全施設等がございますけども、
0:12:22	こういうような機能につきまして、また、燃料の健全性、段取りの健全性、交渉被ばくへの影響を評価するのが、
0:12:32	許可上の安全評価の役割といいますかね、それで確認するというものでございます。
0:12:38	従いまして緊急時の停止冷却に係る機能は特殊試験中においても、
0:12:44	変更することができないというのは当たり前でございますけどもそういうものでございます。
0:12:50	特殊件中の変化の範囲でございますけど、保安検査見られた運転、通常運転の範囲内であるというふうに考えてございますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:59	安全評価における初期条件の範囲内であれば、安全評価に影響を与えることはないということで考えてございます。
0:13:08	こちら前々回に切りを示してくださいということで前回事例をお示しましたけども前回全部示してくださいってことでコメント若干変わりましたので今日は、
0:13:19	一番後ろにすべての安全評価についての表をまとめさせていただいております。後程説明させていただきます。
0:13:26	次のパラグラフでございます。安全評価の初期条件や過渡変化中の最大値この過渡変化中というのは、特殊試験の過渡変化でございます。安全評価の方は、安全評価の初期条件。
0:13:39	過渡変化というのは特殊試験における過渡変化という最大値でございますけど、
0:13:45	そちらを比べてとなっているかというのも、後程説明させていただきます。
0:13:50	それと、保安規定の値範囲内であれば問題ないんですという説明させていただいておりますので、保安規定の値についても並べて説明させていただきたいと思っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:04	こちらのちょっとお示ししますけど別添1で示させていただいております。
0:14:09	下の方でございました2行目でございます。特殊試験では事前解析によってプラント挙動の確認をすること。こちらによりまして特性試験中の変化の範囲が、後で示してございますけども、
0:14:25	黄色のハッチングと言ってますけどもある守んなきゃいけないと言っている範囲ですね、制限を満足する範囲っていうのを事前の解析特定をいたしまして、
0:14:35	副試験可能範囲を選定しているという説明でございます。
0:14:44	この後ろの表でできますけども黄色くハッチングしているその守らなきゃいけない重視すべき範囲というのが、
0:14:51	添付書類10の安全評価においていわゆる初期条件を満足するようなものでございますよという説明になります。
0:14:58	前回資料になくて混乱を、詰まっているようなものがありますのでちょっと追及させていただきたいのはここでという文章でございます。
0:15:07	特殊試験でございますけども、計画運転で行うものになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:13	資料用許可横にもないんですけども、流れとしては、定格運転で行うものでございます。
0:15:20	こちら定格運転というのが原子炉出口温度が 850 \$ 運転を行っております。
0:15:25	下につきましてはそれ以外に原子炉の出口温度は 950 度の運転とございます。
0:15:32	高温試験運転という運転後でございますして契約及びを出すこと自体は試験運転というものでございますけども、
0:15:41	この安全評価上はもちろんこの 100 度高い 950 条の高温試験運転の方はいずれも厳しい結果となってございますので、
0:15:52	後に出てきます別邸次の表につきましては許可の値を全部引っ張ってききましたけれども、
0:15:58	中身としては運転の結果が示されているのは事前に説明させていただきたいと思っております。
0:16:08	それぐらいでもともと 100 度ぐらい差があるんだというのを、ご認識いただければと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:16	その続きでございますけれども例としてといったことが書いてございます。こちらはですね、
0:16:22	事前解析をしてからやりますと言っているものにつきまして、
0:16:27	今回来年度末ごろ予定してます試験につきましては2011年に事前解析を実施してございます。
0:16:40	ここに書いてあるJ A T e c h n o l o g y 2011018 というものにかかせていただけてますけど本日はそこから抜粋したのも資料に入れさせていただいております。
0:16:51	事前解析の結果、この出力、このファンの停止台数等々であれば問題ないという問題ないというのは
0:17:00	異常の過渡変化設計基準事故の初期条件を下回っているということを確認してますよというのを、後程説明させていただきたいというものでございます。
0:17:11	また、特設県の例ですけども、
0:17:15	ファンを止める以外にバイパス流量を調整するという説明も本日加えさせていただきますので、そちらにつきましてはレポートのバブリングと2011033 というものにつきまして公開しますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:30	そちらについても事前解析の予備解析については申請終了しているというものでございます。
0:17:38	こちらあくまで予備解析でございますので保安規定に基づいた特殊試験計画につきましては、
0:17:46	再度解析を行って、間違いないという確認を行うという解析を行うものでございます。
0:17:54	そちらがまだ準備中でございますので結果ありませんので予備解析の結果の説明となります。
0:18:05	警備解析の結果でございますけども、17 ページから書かせていただいております。
0:18:11	先に申し訳ないですけど 19 ページの下の表の方を説明させていただきます。
0:18:17	こちらは空気力学のファン 6 台中、2 台といいますよと言っているものでございますけども、
0:18:25	予備解析においてはパラメーターを振っております原子炉出力が 30% から 100%までの間、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:32	ファンが1台から6台まで何台とめますかっていうのを事前に解析した結果でございます。
0:18:39	これだ一っと書いてますのは、解析できないと書いてますけれども、
0:18:45	計算条件としてどっちかに温度が発散していくような状態でございます、
0:18:50	もともとそもそも計算が途中で止まるもちろん警報値等を全部突破してございましてそんな試験はできないという領域は、
0:18:59	書いている領域でございます。
0:19:02	×と書かせていただいているのは解析自体は、できる、温度が途中で静定をするというのはわかるんですけども、
0:19:10	いわゆるホームページ定められている値は超えますよというのが×でございます。
0:19:16	三角っていうのが、制御偏世代というもともと制御偏差、人数とか佐渡とか細かい班やってますけれども、
0:19:24	そういう閉鎖台という警報のみでそれ以外にかかる警報が出ないというもので確認しているものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:32	従いまして3角の範囲が実際に試験ができる範囲というのを確認しているというものでございます。
0:19:39	ここから、どこで資金をやるかというのを考えていて我々の審査を通ったものについて試験ができるというものでございます。
0:19:50	こちら90%までしか試験ができないっていうのも止まっていますので今回は90%の値のグラフを、
0:20:00	事例として載せさせていただいておりますそれが17ページからになります。
0:20:07	後説明しますが特殊県としては今のところには猪野停止を検討しているというものでございます。
0:20:18	ですのでこれから示すグラフにつきましては、90%からのACLファンと書いてますけども6台あるうちの、
0:20:25	何台かを提出する試験でございます。
0:20:28	出力が90%からスタートでございます。
0:20:32	原子炉出力自体はどういうふうに動いていくんですかというところについてですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:36	先ほどご説明いただきましたけれども過圧水の温度上げると、原子炉入口温度が結果的に、
0:20:43	ヘイスウほど上がっていくということになりますので
0:20:48	原子炉出力はフルファンド本部とフィードバック効果によって下がると いうのがわかるというものでございます。
0:20:54	市田宮地さんだって問題です。
0:20:57	停止台数が多いほど負荷というか
0:21:01	外乱が大きいのですのでそれだけ大きく外乱が大幅に入っても確認してる と思うんでございます。
0:21:08	むしろ付則につきましては基本的下がるものでございますので、
0:21:12	安全解析上は、許可に影響を与えることないと確認取ってございます。
0:21:18	今の説明に対する反応度の方でございますけれども、
0:21:22	原子炉入口の温度が上がりますファンドほどフィードバックここで反応 度不具合に入りますよというのが打田伊奈三田4台で、それぞれ書かせ ていただいているものでございます。
0:21:33	この後、若干プラスに触れますけども、最後は戻りますんでこの制定す るというような確認ということになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:43	今現在は2台停止までですのでこの上側に振れが起き4台とか3台と入れなくて、ほぼ0日までのと。
0:21:51	次第2台で実施する予定になってございます。
0:21:57	その次原子炉入口温度はどういうことがあるんですかっていうものでございませけれども、
0:22:03	1台2台停止ですと、大体1台ですと、3度に3度でございませ。今予定している2台ですと、
0:22:14	概ね、
0:22:16	自由度弱8度ぐらい上がるというものがわかるかと思ひませ。
0:22:22	特殊試験といひませのはコードの詳しく見ていきたいと思ひませ。ございませので
0:22:29	風土をの变化はきちっと追えるコードをにしたいといひませ。で、本数の变化を確認したいといひませ。ものでございませ。
0:22:38	この原子炉入口温度につきましては後でできますけど制限値ございませ。ので、
0:22:44	その制限値以下でなければならぬといひませ。ものでございませ。コンクリートは405度になってますけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載してひませ。発言者による確認はしてひませ。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示ひませ。

0:22:52	基本的には 395 ですね、この辺り。
0:22:55	この辺りで止めるように考えたいというものでございます。4 台停止だと 395 には一応いきますよねっていうんでございますけども、
0:23:03	依頼定数ですと、その全然下の方にあるというものでございます。
0:23:09	池小の出口温度でございます。
0:23:12	JCO の入口温度につきましては
0:23:16	上がるもんでございますけども、
0:23:18	その結果、最初のちょっとですね、最初のほんの数分についてちょっとだけ温度が上がるっていうのでございます。
0:23:28	こちら左の目盛り 1 個で 2 度でございますのでこのちょっとというのでも 0.1 度あるかないかぐらいでございますけども、
0:23:36	それくらい温度が上がってそのあとは、原子炉が下がりますので原子炉の出口温度も、基本的に下がってこうなりますと。
0:23:45	m 現在は 1 台管理の停止をしたいというものでございます。
0:23:53	解析評価事前評価では 90% で 4 台の停止はできないとっておりますので 4 段停止のところにつきましては、基本的には
0:24:04	解析事前会計でも、もともとできないと言っている運転でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:09	その次でございますけども加圧水空気、アース製薬ですね、PWCという、一次系と理事系の冷却材の御交換をしているもの。
0:24:22	の、水側の温度の変化でございます。
0:24:26	こちらにつきましても伴の方の冷却を言われますので、
0:24:33	入ってくる水の温度は若干上がりますというものでございます。市田さんですけれども、
0:24:40	それに伴いましてどっから返ってくる、ヘリウム濃度もありますけども合計として、
0:24:50	水の出口温度ですね。
0:24:53	定期で逆。
0:24:55	木から出てくる水の出口温度も、温度が上がるという傾向にあるというものでございます。
0:25:01	こちらも2台停止までですんでこの辺りですね、これでいうと100。
0:25:06	50度弱ぐらいまでは上がりますというものでございます。もともとは100、
0:25:14	ですね138ぐらいだと思いますけども、
0:25:18	10数度程度上がる10度ぐらいに上がるというものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:24	このような事前解析をしてええ、ええ、試験範囲を決めて、
0:25:30	その結果としてさらに安全な側にやりますので、
0:25:36	20%ぐらいというところでやりたいというものでございます。今、やりたいところでございます。
0:25:43	で、⑤番に移らせていただきます。
0:25:47	許可上は、書くところがない、通常運転反映、アクトコールの犬塚区とすれば我々提案としては特殊運転のところかと考えているんですけども、
0:25:59	やっぱりふさわしくないといった場合には次の方に定めたいというものでございます。
0:26:05	運転手引き定めるべき内容についてまとめてくださいというコメントいただいていますのでこちらをまとめさせていただいております。
0:26:13	徳重の実施にあたっては以下の範囲内で実施することということになります。
0:26:17	特に試験は定格運転で実施すること、いわゆる経営者の出口温度 950 の運転ではなくて 854 点で実施しますよというものでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:27	特殊試験において、特殊試験結果を定める操作可能な機器設備は原子炉設置変更許可申請書の添付書類 10 の安全評価で、
0:26:37	作動ですね何かがあった場合の動作作動を期待している安全系の設備、安全保護系とか、そのあとの工学的安全施設とかですね。
0:26:47	がについての、
0:26:50	いわゆるパソコン設備について、操作をするというのは、
0:26:54	できないというものでございます。従いまして操作できるそれ以外の設備ということの記載をさせていただいております。
0:27:02	三つ目のポツでございます。
0:27:05	特殊試験実施中における変化の範囲でございますけども、こちらは原子炉設置許可申請書において制限されている、熱的制限値、
0:27:16	こちら燃料温度のことでございますけど熱的制限値、最高使用温度を超えない範囲であるというのはもちろんでございますけども、
0:27:24	加えて本気で定められている警報値、スクラム値、運転上の制限値を満足する範囲でないと運転は入れませんので、
0:27:33	これはすべてを満足する範囲であるということの制限を書かせていただくというものでございます明確化でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:40	もう一つ、bとして書かせていただいております。特殊試験の実施にあたっては以下を実施することということで、
0:27:47	事前に解析しますというのはさせていただいておりますけれども、どうもまた、それを、
0:27:54	へえ。
0:27:56	実際に手続きに書いておくようにということでコメント等もいただいておりますし、書きますというような答えてますけども今回は取りを明文化してございます。
0:28:06	特殊試験中の変化が、
0:28:09	括弧Aの範囲内に収まることを確認するために事前評価を実施すること、また、
0:28:16	当該事前評価の結果に基づき、保安規定に定める特殊試験計画を定めることということに書かれておられます。
0:28:24	いわゆる事前解析をやってから本規定の特殊試験計画を定めてその中で運転手順ですね、を作るということを明確化するというものでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:36	一番最後の表でございます。若干細かくて見にくいかと思えますけど説明させていただきたいと思えます。
0:28:45	画像は共有してありますがちょっと見づらいと思えますのでお手元の資料あればいただきたいと思えます。
0:28:56	多分この表でございますけれども、
0:28:59	一番左側に書いてあってですね、と書いているのが、許可に書いてございます異常な過渡変化の範囲というものでございます。
0:29:10	D B Aというのを書かせていただいている、設計基準事故でございます。
0:29:16	前回のコメントで許可に書いてある事情すべてについて書いてくださいということで表にまとめさせていただきました。すべての許可に書いてある事情を引き抜いているのが、
0:29:28	この左側ですね、の、それぞれの異常の過渡変化ないし事故の
0:29:34	名称でございます。
0:29:36	上側に行きまして、保安規定や許可において守らなければいけないと言っているもののうち、
0:29:46	実際にですけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:50	手引きに書いて制限すると言っているものはこの黄色い部分でございます。
0:29:55	一番上が本部で定める警報値に※がスクラム D3 個目が運転上の制限でございます。
0:30:02	また、1 個飛ばしまして黄色くなってから定める通常運転の範囲の核的熱的制限値と、最高使用温度についてもこちらできませんので書かせていただいております。
0:30:15	許可につきましては安全評価で何を見ているんですかって言いますと、基本的には燃料の最高温度を超えるか超えないかという確認をしているところでございます。
0:30:25	それと、今のとはまた別じゃないですけど閉じ込めの確認という意味で今の燃料最高温度と、
0:30:33	同じく取り込み確認という意味で一次 PWR 伝熱管の温度と、IHX という伝熱管からともに熱交換機になります。
0:30:43	ヘリウムと水の一次系のヘリウムと水の熱交換器が 1 つ PWC ございましてその伝熱管の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:50	一次系が減り水木はヘリウムのところの熱交換器、中間リスクを汲み取 ってますけどもその伝熱管の温度は、
0:30:59	1割続けるバウンダリということになりますのでその、
0:31:03	この
0:31:04	通りになっているところは安全評価上、見るべき、1でございます。
0:31:11	ここで確認していただきたいのは、今特別県でやろうとしているところ で、90%のファンに抱いて比という欄が赤で書かせていただいている。
0:31:23	ところでございます。
0:31:25	特殊試験中において、変化の最大値の値と、
0:31:33	大矢DBA深瀬にいただいている、初期値の値を比べていただいて、ど のような関係にあるかというのを見ていただくというような表現になっ てございます。
0:31:44	実際には、この黄色部分を守るって言ってますので、手順としては赤い 次に書いてあるところの最大値が、
0:31:55	保安規定に定められていないし許可の制限っての範囲内であることを確 認した上で、この黄色いやつと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:04	以上の過渡変化ないし設計基準事故の解析上の食事の値を比べていただいてどのようになっているかというのを見るようになってございます。
0:32:15	例えばでございますけれども、下水道出力につきましてはもともと 90% ありますと言ってますけれども、解析の結果、職以下になるというふうになっております。
0:32:27	ですのでもちろん本当以下でございますし大矢 D B A の解析というのはいわかりやすいかと思えます。
0:32:36	続きまして燃料温度でございますがこちらババアと書かせていただきました。
0:32:41	低角運転実施のため高運転に比べて明らかに低い温度となるためってことで書かせていただいております。
0:32:49	こちらでございますけれども燃料温度の実値ですね、のみならずと言ってますけれども、その辺りはなかなかいろんな値があって、あまり公開をしていないものでございますけれども実際は 1200 から 1300 ぐらいの値というふうにご考えてください。
0:33:07	安全解析上は、
0:33:10	拳カーにおける通常運転の熱的制限値ですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:16	1195度までは、通常運転していいですよって、通常運転していいですよっていう数百95Upperを初期値にして解析するのが、
0:33:26	異常の過渡変化設計基準事項の
0:33:31	初期条件でございます燃料のJ I Z A Iは実際には全然低いところにあるというふうに思っただければいいと思います。
0:33:41	その次大事なところですけど右の方に行きまして伝熱管の方について説明させていただきます。
0:33:48	ヘリウムと水の伝熱管の温度の熱的制限値は380と、
0:33:54	ヘリウムヘリウム交換機の熱的制限値、例えば、塩最高使用として最高値温度は955ドルになります。
0:34:01	最高使用温度というのはですね、通常運転の範囲でここまでは行くかもしれないよということで、定められている温度が最高使用温度でございます、
0:34:12	材料としての最高使用度ではないというのを先に説明いたしたいと思います。
0:34:17	通常運転最高使用温度になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:20	安全解析上は今度は材料としてそれが持つのかもたないのかっていうところの余裕資料を持った値になってございます。
0:34:29	600
0:34:31	1時PW使う温度と書いてあるところの、600と650という数字が出ておりますけども600というのは、以上の過渡変化における衛生月、
0:34:42	650というのが事故時の制限になります。同様にIXで5日については980度というのは、連立間の異常の過渡変化の実績です。
0:34:53	羨道っていうのは、事故時の制限となります。
0:34:56	こちらでございませんですけども、我々は通常の運転の範囲と言ってますんでこの380ないし955というのを守ると言っております。
0:35:08	こちらこちらもですねバーと書かせていただいてまして実時は公開をしていないのでバーと加瀬いただきますけども、
0:35:17	実際には全然低いところにあるというものでございます。
0:35:24	これ全然低いと言っても多分、言ってるだけでわからないというふうなコメントを受けるとは思いますがちょっと左側に沿いまして1PwCの入口温度を説明させていただきたいと思っております。
0:35:36	こちらはHP雑誌前使う温度のヘリウム水に交換している方の水側の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:43	温度を示しているものでございます。
0:35:47	90%で何度なんですかというと実際は 95 度ぐらいでございます。この試験においては 110 度ぐらいまで上がりますよって言っております。
0:35:58	ただ実際解析上何度やってるんですかっていうと、150 度を初期値と設定しておりますことは設計がこの温度になってますので 150 度になります。
0:36:09	ですので本気形状は 150 度のうちの設計上これだったので、
0:36:15	本日警報値 158.4 度というところで警報になりますと言っているものでございます。
0:36:23	スクラム値は 108。
0:36:25	10 となっているものでございます。
0:36:28	安全解析じゃないスクラムですね。
0:36:31	こちら実際
0:36:34	スクラム値は 158.4 だということになってる、安全回復とは全然違ったりでございますけれども、
0:36:41	こちらは、安全解析上はポンプの保護とかどうでもいいので 150 に対して 180 スクラムしますよというふうに解析をしてございますけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:52	我々は資産保護としてポンプ自体の保護もしたいので、
0:36:57	158.4 度で圧損の high の警報が出たら、このポンプはトリップして、
0:37:04	ポンプ自体が再利用でそのまま使えるという温度域に留まるように 158.4 度でスクラムと設定しているというものでございます。
0:37:14	今説明させていただきましたように、解析上 150 というのをベースにさ せていただいておりますけれども、
0:37:21	事実については 90% でございますけど 95 度程度で触れる範囲でも 110 度程度でございますので、
0:37:29	解析上食事に対しては十分に低い値になっているというものでございま す。
0:37:35	こちらこの水の温度が大変低いというのを考えていただくと、この一番 右側ですね、1 品月間温度というのがこのバーと書かせていただいでい る理由はわかるかと思うんですけどもそのようになってございます。
0:37:48	ですのでこの伝熱管という温度も大矢 DBA 設定させていただいており ますけれども、
0:37:54	実際にはもっともっと低い温度の範囲内であってこの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:01	解析上利息以下であるというのを事前に解析して確認を取った後、特殊経営を行うというものになるというものでございます。
0:38:11	説明としては以上になります。よろしくお願いいたします。
0:38:15	はい、ありがとうございます。
0:38:19	それでは規制庁の都築から、何点か確認をさせていただきたいんですけども。
0:38:26	まず表の、
0:38:29	くださいお勧めしていただいた別添 1 の方なんですけども、
0:38:33	まず特殊試験中の変化の範囲ですね、赤字の最大値になると思うんですが、これは要は添付 10 の添付書類 10 の安全評価における初期条件ですね。
0:38:48	お勧めいただいた D B A の触知ですね、こちらを満足することで、
0:38:58	特殊県が設置許可の安全評価に影響を与えることはないというふうに言い切って判断してるということになってますが、実際その理由ですね。
0:39:08	塀をちょっと教えていただけないでしょうか。
0:39:15	C P R イノイでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:19	初期値解析のですね異常な過渡変化や設計基準事項における解析の初期値、
0:39:30	以下が最大値、要は我々やるとしても最大値よりも大きいということね。
0:39:38	いうことを確認いたしますと、
0:39:40	試験中にどのような変化が起こっても、解析の初期値以下でありますので、基本的に解析自体に影響を与えることはないというものでございます。
0:39:51	今説明があまりなってないかもわかりませんが、この最大というのはあくまで
0:39:57	ピンと出てちょっと出ていたら最大と書かせていただいておりますので、ありとあらゆる変化あるかもわかりませんが、その中の最大値が、
0:40:07	異常な過渡変化設計基準事故の範囲内であれば、まずは解析の範囲内に入っているというものでございます。
0:40:15	安全解析というのはいわゆるルー何かを壊そうとするために、温度が高くなる方向、あとなくなる方向にどんどん降ってきますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:28	いわゆる本社キー地域下であれば、基本問題ないというふうに考えているものでございます。
0:40:33	今のちょっと説明なってますかね。どうでしょうか。
0:40:39	規制庁の三吉です。えっとですね今の、
0:40:43	最初の質問は、
0:40:45	今回、直接県通常県の範囲の
0:40:50	あれになるように試験条件を決めるということで、
0:40:57	この表で言うと赤字のものを出していただいて、
0:41:01	特殊試験中の、
0:41:04	それぞれのパラメータの変化がどうなるかっていうのを出していただいたわけですね。それで、それと、これまで聞いていた、
0:41:14	許可の、
0:41:16	条件と、
0:41:17	どうなのかっていうことで、この表でその点についてはクリアになったと思いますんで、今質問したのはですね、私もちょっとあんまりそういう要因は考えられないと思ってるんですが、
0:41:31	直接県のここの赤字で書いたものをあれに計算をしたときに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:40	今許可で、このハッチングになっているところろう
0:41:45	に包絡されるといい。
0:41:48	ことが、明確になればいいと思うんですが、その際に、この初期値の大 小関係で、
0:41:58	異常な過渡なり、
0:42:03	設計基準事項の大小関係が逆転することはないですねっていうそのこの確 認をしたいと思ってるんですけども、そこについての、
0:42:15	何かその説明を、
0:42:17	いただくことってできませんか。
0:42:22	石井 S G T R イノイでございます。
0:42:26	今三好さんのご質問は、
0:42:30	例えば 90% ファンに来ている赤字になっているところの最大値はわかる んだけれども、はい。
0:42:38	D B A の初期値と、我々も比べているんだけれどもその、
0:42:46	Y D B とこのハッチングのところですね、のところにも包絡されている という説明して欲しいというものでございます。要するに、今回一同 で、その赤字の組織ないし最大値があって、仮にそれで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:03	ときにどうなるかっていうのが最終的に、特殊試験場の自己評価の結果 ってということだと思うんですね。これよろしいですか、一つ。はい。はい。 大丈夫ですね。そうですね。ですから
0:43:15	これはありませんけどその事故、特殊試験に対する自己評価結果。
0:43:22	と、評価のこの発注での大小関係というのは、初期値で、の大小関係で 決まると、いうことが、もう自明であれば、
0:43:34	この表で説明を、
0:43:37	なると思うんですが、あそこの在籍が逆転するとか、
0:43:42	そういうことは
0:43:45	プラントの特性上ですね、或いは、ここで評価している、モデル上、そ ういうことはもうない、ないと、いうことについて、少しちょっと説明 をしていただきたいと思っております。
0:43:59	あ、わかりましたTTRイノイでございます。
0:44:03	今の部分でございますけれども、
0:44:06	進めさせていただいてるようにスクラムスタートに使う機器立入はその まま動くということになりますので、
0:44:14	スクラム設定値もそのまま生きてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:19	従いまして特殊県中に最大値を迎えたところから制定をしているかと思 いますけどもその状態で、
0:44:28	何かD B Aのようなものが起こった場合は、
0:44:32	冷却とかがですね
0:44:39	言えない方向になってますけれども、全体としては一定の安定した状態 になっていて、
0:44:46	流量等が減ってるわけじゃないですのでプラント全体の動きとしては、 通常の運転と同じ状態になり、温度のちょっとバランスが若干、
0:44:56	出力と来るわけでございますけれども、
0:44:59	ただその若干残りについては数の範囲でお世話になる範囲で特殊試験を やっています、
0:45:06	ですので、その等の変化がですね、
0:45:10	いわゆるとして何か起こった場合においても、その変化は通常と言わ れると90%の変化とほぼほぼ変わらない動きをします。
0:45:20	というのは自明だと思いますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:23	そのハッチング部分にも入っているというのは確実だと思います。ただ一つちょっと入らないっていうのは一つあるかと思いますが
0:45:33	逆側の、
0:45:34	外来を入れる場合ですね。
0:45:36	例えば、カレー局ですね。
0:45:41	こちらは冷やさない方向の試験をやってますけど、冷却で入れた場合は、
0:45:46	海脚れた場合は技術資料の入口温度はへ冷えますので反応度はプラスの方向に入っていくというふうになります。
0:45:54	例えばそのような状態で、さらに制御棒の誤引き抜きとかいうものを重ねると、これはもうちょっと変化が早くなりますので影響を与える可能性はゼロではないと思いますけれども、
0:46:11	そのようなものがありますけど、基本的にそういうものも今やらないということになります。
0:46:16	今の説明で大丈夫でしょうか。
0:46:20	そうですね

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:23	ちょっとこちらで、最初の1点目の質問として挙げたのは、ちょっと
0:46:30	大ざっぱに言いますとですね、
0:46:35	既許可の安全評価の値と直接検事の、
0:46:41	仮に仮にというかその特殊権利に対しての安全評価の結果の大小関係と いうのは、
0:46:48	小野瀬口を見れば、
0:46:52	判断できると、いうことで再度確認させていただいてるんですけど、そ れはそういうふうに、
0:47:02	よろしいのかっていう
0:47:05	いうことは、実際の挙動として、そういうふうにいえるのかということ を確認したいんですけども。
0:47:16	1イノイでございます先ほどの過冷却の場合については、入らないかも しれませんけどもそれ以外であれば、基本全部入るというものでござい ます。はい。それがゆえに、考えておられない計画の、
0:47:31	ということを直接検討してやった場合にはそういうことは言えないけど も、今回出て、今回出てるといとか、要するに、注入、
0:47:40	特殊試験を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:44	範囲だとか、
0:47:45	方法っていうのは、
0:47:47	うん。
0:47:49	そういう、基本的にその初期値のレベルなり或いは市のレベルでは、
0:47:57	判断、判断できないと、判断できないようなものについては逆にそう いったものを、
0:48:06	考慮して、
0:48:09	オフィス系の範囲を決めるというそういうふうな理解でよろしいんです かね。1イノイその通りでございます。いわゆる加齢カクウが絶対でき ないかっていうとそうではないけども、今の状態だと。
0:48:23	印象はできません。虐待する可能性はゼロではないので、そこはやりた いってもうやるっていうのであれば、
0:48:31	影響与えそうないわゆる1、の一番2番っていうのは、実際にもっと解 析をしないと、
0:48:39	できるかどうかはわからないっていうのが回答ですね。
0:48:42	ただそういうような変化じゃないものですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:46	単純に変えて下がりますいわゆる冷却じゃないようなものですね、f側に にどんどん入っていくようなものにつきましては、
0:48:56	書記っていうのを持っていれば、問題ないというふうに確認をしております。
0:49:04	大体わかりましたけど、ちょっとね、実際そういう初期値の大小と、あと、ここで挙げられてるような、
0:49:13	異常な過渡或いは設計基準事故、ちょっとその許可の条件っていうのが、
0:49:22	この公平性ということで、
0:49:25	やってるということで、実際、各種試験は単独。
0:49:30	計画ですか。それでやるということなんで並びの横並びには、
0:49:36	基本比較できない。
0:49:38	いいのかもしれないんですけど、
0:49:45	基本的にはこの結果を下回るっていうこと自体は、今その職種の比較っていう範囲で議論をするので、掲載はしていないということなんですか。
0:49:56	そう言ったのか、もう、共同的にもそういうことは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:01	文化冷却以外ではいえるので、
0:50:04	計算はしていない、或いは予算は、
0:50:07	有り得ないけど事象としてはありえないけども、計算で確認をしてるのか、ちょっとその辺、
0:50:16	聞きたいんです。
0:50:20	T T R イノイでございます。
0:50:23	事象として明らかな場合は計算をする人はないのではないですけども判断はまた我々の品証の中でコメントが全部やらないといけませんので、
0:50:34	確定はしてませんけれども、はい。その状態ですね。はい。
0:50:42	現在現状は明らかに大丈夫であるという、いわゆる文化冷却になるようなものはまあまあにもっとやらないとわからないけれどもそうじゃないものについては問題ないというのを確認していると。
0:50:56	解析上のD B Aはあくまでコーン単独が並列でピークでという方が代表選手になってますけれども、そのような初期値、
0:51:09	単独並列するといっぱいあると思いますけども初期値はほぼ全部同じでございますのでその初期値を下回れば問題ないというふうに考えているものでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:19	はい。本館大体その説明の今の考え方はわかりましたんで、それと関連してですね。
0:51:27	公表率というのと、いわゆる実際の特種試験をやる。
0:51:31	計画線という、ちょっとその関係をちょっと改めて教えていただいたいんですけども。
0:51:38	経営計画、管路久世評価で、これ、このモードでの、
0:51:44	計算をしてるんですけど、
0:51:46	このモードを選択したっていうのは、
0:51:50	運動売りなのか、もう一つ教えてたんだっけ。
0:51:55	1 T T R イノイでございます。
0:51:59	許可上はですね、4 パターン計算をしていて、代表選手を書いているものでございます。いわゆる現象出口運動は 950 人が同居いたします。
0:52:13	衛藤図を見ながら、
0:52:16	ない。
0:52:18	はい。
0:52:20	です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:25	今高温と言ってるのと原子炉の出口温度は 950 になるんで、単独と言ってるのがこの原子炉テクト発表後となる運転を行っております。単独と言っているのが、こちら下側の黄色い熱交換で、20/30 と書いてあるんですけどこちらで、
0:52:44	原子炉が出た熱 30 メガワット全部取る、いわゆるもう 1 個の方のヘリウムヘリウム熱交換器を使わなくて、全部下で、
0:52:54	熱を取って栗城冷やすというものは使わない運転を単独運転と言っていて、
0:53:03	両方とも使う方はですね、10 メガワット 20 メガワットで原子炉熱を分配して、
0:53:12	10 メガワットとった方の熱交換についてはそのままヘリウムヘリウム熱交換系をしてそのあとヘリウムまた水で熱交換をして最終的に 30 メガあった全部
0:53:22	矩形で撤去するんですけども、この両方にとって使うの並列運転と言っております。ですので原子炉の出口温度 950 度で、ネット 1 個使う運転モードと 2 個を使うっていうのは、
0:53:36	原子炉出口温度が 850 で、熱交換器を 1 個使うものと 2 個使うものと全部で 4 パターンあると思いますけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:44	安全評価許可における安全評価においてはこの4パターンを全部計算をして、その上で、
0:53:52	いわゆるこの事象ごとにチャンピオンになっているものを代表例として書かせていただいているので、これが今の許可の記載になっています。
0:54:02	結果的に高温の方が厳しくなるので5の方しか乗っかってこないというもんでございます。円ファンドは伊豆につきましては宇井ですね。
0:54:16	場所によっては単独の方が高くなるものがあるので、そういうような選び方がどこになるかというのを選んでいるというものでございます。
0:54:27	今回は試験としては原子炉出口温度がそもそも850でやっていて、
0:54:34	熱交換器は1台2台両方使っていますけども、両方のパターンありますけどもそういうような、
0:54:41	試験をやりますというものでございます。結果としてこの温度は聞いているので、950度の運転の安全評価の範囲内は許可の範囲内には全部入ってしまうというものでございます。
0:54:54	ただ、定格運転においてもこの初期値ですね会計初期値というのは変わらないので、
0:55:01	その原子炉の月温度以外ですね、出口温度以外は変わりませんので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:07	初期値を満足していれば基本的には問題ないというので考えているもの でございます。
0:55:13	以上でございます。
0:55:17	規制庁の三好です。これさ、只野長内ですけど、許可の時にはその4パ ターンのうち一番、それを計算して、
0:55:27	一番厳しい運転の道具が今ここで書かれていると。
0:55:32	それで、
0:55:36	今回の直接県については、これは計画単独でしかやらないと。
0:55:42	うん。
0:55:44	いことなわけですね。
0:55:47	特殊試験については、低角単独または低角並列の両方のパターンがまだ 2パターンございます。
0:55:59	温度として850ということでしたっけ。
0:56:02	どっち850。
0:56:12	そうすると今回のいわゆるもうあのモードは、本炉は、
0:56:22	他に比べて、もう休暇は950度というふうに保守的な評価。
0:56:30	結果を載せていると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:32	いう理解でよろしいですか。
0:56:35	はいその通りでございますが、試験研究炉一品物でございますので、筒井から比べると相当
0:56:46	分の温度になっている、いわゆる燃料最高温度 1195 と書いてますけど先ほど説明しましたけども、
0:56:53	ノミナルでいくとまた無線に 300 ぐらいしかないのそこも 100 から 200 度ぐらい実際は下がるというようなものでございます。
0:57:03	ですの許可の安全解析につきましては、かなり保守的な値が乗っかっているという認識でございます。
0:57:15	えーっとですね、あとちょっとその表現として教えていただいたんですけども、
0:57:22	右側の方に、一時、
0:57:26	P w C の伝熱管云々、それから、
0:57:29	中間熱交換器の月会合なんですけども、
0:57:38	職長について、
0:57:40	それ、それ、ほぼそれ以外のパラメータについては、
0:57:46	みんなその事象によらず、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:49	その初期値というのは同じになって、ほぼ同じになってるんですが、
0:57:59	例えば、
0:58:00	一番右のですね、
0:58:04	交換機の電熱管運動で、
0:58:06	同乗っていうふうな 910 年度っていうのがあって、ずっと道場が並んでるんですけど、
0:58:14	三つばかり約 400 度っていう、違う。
0:58:18	これは初期値になってる事象があるんですけど、これは、なぜこういうものが入ってるのかっていうのをちょっと教えていただきたいんですけど。
0:58:31	はい。T T R イノイでございます。
0:58:34	ちょっと表が右と左で飛んでいるんですけども、運転モードがですね、高温並列と高温単独でちょっとモードが違います。
0:58:45	先ほど申し上げましたけども中間熱交換器、熱交換系 2 台使う運転のモードのときは、2 台目の方の温度が上がります 911。
0:58:59	ただ単独運転モードですとその 2 台目の交換機使わない運転モードでございますのでいわゆる除熱しかしていない状態の温度、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:08	400 度程度ですね。
0:59:10	ていうのが食事として入るといものでございます。ですので数字は 2 個しかないと思います 914 度という、並列のモードと、
0:59:20	約 400 度っていう高温単独の温度二つの数字が入っているといもので ございます。
0:59:26	その左側の一次 P W C 伝熱管温度につきましても同じでございまして、
0:59:32	熱交換器 1 台使う時 2 台使う時で熱ヒートバランスとか違いますので、 345 度か 351 棟のどちらかの数字が入っているといものでございま す。
0:59:45	これが並列下端とかの運転モードの違いによるものといものでござい ます。以上でございませ。はい。町長の乳井です。この数字がその濃度 による、
0:59:55	いことは理解しました。その上で、例えば今出た、
1:00:03	一次 P w C、右側の二つの欄ですね。
1:00:06	これ 351 とか 4 今 400 っていうのは並んで、それぞれ並んでませけど、
1:00:13	心得。
1:00:15	では今度の特殊試験については、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:18	マイナスっていうのは*2っていうふうになってるんですけど、この辺との関係ってどうなってるんでしょうか。
1:00:26	ちょっとご説明あったのかもしれない。それちょっとフォローしてくれなかったんで。
1:00:32	これを、はい。石田イノイではない。はい。
1:00:36	それぞれのパラメーター、
1:00:39	一次PWCと愛知Xの、今ここに載っている
1:00:45	350とか400とか、そういったものに比べて小さい値になってる。
1:00:50	いうふうに理解してよろしいんですか。
1:00:54	自体はイノイでございます。並列運転につきましては914よりもはるかに小さいあたり、単独運転時につきましては空翔様L e eこれはほぼ400近いですかね。
1:01:06	400円も小さい値になっているものでございます。はい。
1:01:10	その理由でございますけども、先ほどちょっとご説明させていただいたんですけどもう一度右から三つ目の欄に、
1:01:17	一次PWCの水の入口温度っていう欄がございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:23	安全解析上は数字、2ヶ所入れさせていただいてますけども150同書記として、
1:01:30	いわゆるスクラムになるのが180程度必要という数字を記載させていただいているんですけども、実際の温度は出力90%においても、初期値は95度でございます、
1:01:44	100%出力になっても100ちょっとしかないというのがもう現実のところでございます。
1:01:51	この水でもって1PW電力間運動のそこ冷やしますのででも取り扱うの自体も実際はもっと低い設計の、
1:02:01	300345よりも低いですよ、と思っております。従ってここはバー※2と書かせていただいて実際はもっと低いですよというふうに記載をさせていただいたというものでございます。実はこの伝熱管の温度が測定、
1:02:20	できたらいいんですけどできないので解析上の値でノミナル値は公開もしてないってこともあってバーンさせていただいてるというものでございます。
1:02:33	規制庁の入手状況というか、その解析と、
1:02:42	実際の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:44	本例。
1:02:49	評価の評価条件がかなりそういうところで、もうそっちに余裕を持っている、持たせてるといふ古藤については理解しました。
1:03:03	これ実は少し新規性基準のときですね。
1:03:07	その半分、
1:03:10	審査の時に、かえって逆にH T T Rの解析の方針っていうのが、結構現場に
1:03:23	取ってるっていうことがあって、それぞれのその事象の大小関係が見えてるかどうかっていう、ちょっとそういう指摘を、
1:03:33	運用した上があるんですけども、
1:03:36	いずれにしても現状は、
1:03:38	そういうところで、
1:03:41	へえ。
1:03:44	少し的な評価をしていると。
1:03:47	することについては理解しました。
1:03:53	はい。ありがとうございます新規性基準時も同じようなご質問をコメントいただいておりますことを認識してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:00	試験研究用の一品物であるということで多分ですけども、
1:04:06	安全解析上は、アンダーエスティメートになるのが一番駄目ですので守りにもった解析になっているという事実でございます。我々の仕事はこれを商用化賞与にするためには、
1:04:19	実際どうなっているのかというのを確かめていて、商用炉になる時にはもうちょっとですまともな、
1:04:27	現実にあった感じですね安全評価でもっていわゆる保守性は削れるのかもわかりませんが、いわゆる今現在の实用発電さんと同じようにいわゆる合理性を持って経済性もえられるような試験研究をから、
1:04:43	所より移していくというものが大事ですのでそのようなことも並行して頑張っていきたいと思います。以上です。
1:04:53	その上しますなんつうかこの辺を南方っていうか意味するところってことについては一応質問させていただいたんですけども、最後にですねこの辺の見方についての質問ですけど、実際
1:05:09	特殊試験についてのいわゆる核変化の評価っていうのは、
1:05:13	参考文献等で教えていただきましたけど、コードっていうんですか。
1:05:19	公道を使ってるということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:22	よろしいでしょうか。
1:05:27	市田イノイでございます解析につきましてはレポート要は行動を使っていて、今回も、
1:05:38	コードを使う、檜垣さんよろしくお願いたします。はい。
1:05:42	はい。HTRイイガキです今回も一応コードを使って評価をする予定になっております。
1:05:52	予定になってるといのか、今ここの表に出てる数字っていうのはコードで評価したのかどうかという質問なんです。
1:06:00	レポートに出てるのはコードで評価したものでございます。
1:06:06	それをベースにした数字はこの数字でございます。はい、どうぞ。そうですねはい。
1:06:12	それで、当然についてのレポートが出てるのは承知してはいますが、
1:06:20	実際に菊川のこういったことは全部一つの構造ということではなかったと思いますけど、主に、
1:06:29	内部回路のんがそれぞれの回路を使ってるという古藤が申請書に書かれてはいますが、
1:06:37	それを使わなかったっていうのは、何か理由があるんです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:46	樽井の伊井でございます。行動自体もですね、より汎用的なもので、より正確に、
1:06:55	計算機の技術がどんどん上がってますので、
1:06:58	そのような思惑もございますので何か特集すぎるものも、よくなくて後でメンテナンスも困りますので、
1:07:06	なるべくですねこの汎用的な行動で商業化するにあたっては、誰もが計算できるようなものについて計算をして、
1:07:16	いわゆる構造材の検証も込み込みですけども、ちゃんとできるようにしていくというのが目的でございます。
1:07:26	計算能力的にその他態度、今まで使ったコードでこの特設件を、より現実的っていうか、ベストエスティメートの評価というのはできるんで、できるのか、或いは難しいから、
1:07:42	このコードを使ったのか、その点だけ教えていただけませんか。
1:07:50	HTTRのイイガキです。現状ですね態度自体は、使っておりませんで、時期に使うようなものを今開発中ございまして、
1:08:05	コードの一つになっているものと思っております。以上です。
1:08:13	そうすると、ちょっと私、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:17	その既許可での、
1:08:20	評価と今回はコードでの評価を、
1:08:25	が並んでるといふ表になってるといふことだと思ひますけど。
1:08:29	清田出野、引間で使ったそういう態度での態度を用いた、こういう特殊試験の評価といふのも、先ほどの生成性質といふか、入力上可能なんですか。それともそこまで細かいのは、
1:08:45	ガイドではできないのか、そこだけ教えていただきたいんです。
1:08:54	HTTRのイイガキです。
1:08:57	おそらくなんですけど大部は、もう少し全体システム全体能評価を行うもので、コールはもう少しちょっと
1:09:11	小ぢんまりとしたといふか、少し領域を狭めた感じの、
1:09:19	評価になると思っております。で、態度は、ちょっとできるかどうかっというのはやったことがないんで、何ともないんですけども、できなくはないんじゃないかなとは思ひます。すいません。
1:09:34	以上です。
1:09:38	大体の所長の認識はわかりました。
1:09:44	規制庁の鈴木です。ちょっと何点かよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:49	まずすいません。はい。お願いいたします。10 ページの表なんですけど、P w C の入口温度で今日、今日のところに横バーになってるところが、
1:10:02	とか D B あんですけど木場っていうのは何か許可に記載されてない部分っていうことでいいんですかね。
1:10:10	樽井イノイでございます許可上は記載されていないものなので一応バネさせていただきました。ただ初期値を入れるとすれば、全部 150 度であります。はい。はい、ありがとうございます。
1:10:22	それ後はちょっと春名さん、西方ですが、20 ページのところでした、B のところですね、特殊開始にあたってはってあるんですけど、ここで、
1:10:36	事前評価を実施することとして特殊試験中の変化がある範囲の範囲をそういうことを確認するために、事前評価を実施と、また、当該実施、事前評価の結果に基づき保安経理される。
1:10:49	特殊計画を進めたんですが、この事前評価っていうのは事前解析というふうに理解していいですかね。
1:10:56	はい。その通りでございます当山事前解析を実施して、実際にその値を見て、その結果に基づいて保安規定に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:08	現在あるその特殊試験計画書に定めるかなということを考えてるっていう意味ですかね。
1:11:19	はい、ご認識の通りでございます。わかりましたありがとうございます。
1:11:26	麻生です。
1:11:30	規制庁金子です。
1:11:33	今の都築が話していたP20 ページの話なんですけど、
1:11:40	今回の行政相談ワーテンパチにパッカー、それとも保安規定に定める運転手引きに定めるかっていう、
1:11:51	そうだとは思いますけども、
1:11:53	この20 ページのBは運転手引きじゃなくて、保安規定本文に書くっていうそういう選択肢っていうのはあるんですか。
1:12:06	H T R イノイでございます。特殊運転の方もあるので、横並びとしてはやっぱり運転手引きの方に書かせていただきたいと考えております。
1:12:20	本日の審査基準のね、運転の条件に関することを書けっていうことで、
1:12:26	事前評価を、事前解析を試験特殊試験を

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:33	そういう時にはするっていうことを書いても変じゃないなと思って見てたんですけども、そういうお考えは今んとこないってことですか。
1:12:42	一条であれば何かのついでであれば、入れると思いますけどそれだけのためにはちょっと変更したくないかなってところなんです。書くことは別に全然問題ないので、時期次第というところでございます。うん。
1:12:57	はい。私一応お考えだけお伺いしました。
1:13:12	江藤。
1:13:14	規制庁から以上になりまして、当J Aさんの方から何か、
1:13:21	ありました。
1:13:26	チラーですけど多分説明の流れだと終わったのかなって言うふうと思うんですけど、もう回答待ちの形でよろしいでしょうか。今回説明を一応
1:13:41	されたという認識を持っていますので次回ですね回答をもってですね、一応検討したいと思っています。
1:13:49	わかりました。ありがとうございます。それ以外こっちだから特にございません。はい、わかりました。
1:13:56	それでは今回大瀬さんこれ終わりにしたいと思います。どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:02	ありがとうございました。ありがとうございました。
---------	--------------------------

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。